



平成 20 年 5 月 15 日
株式会社シノケングループ
代表取締役 篠原 英明
(J A S D A Q ・ 8 9 0 9)

通期業績予想（連結）の修正に関するお知らせ

TOPICS

- 連結売上高：**過去最高を達成し、297 億円と 7 期連続の増収となる見通し。
C I 事業（法人投資部門）および投資マンション販売事業が堅調に推移。
- 連結利益：**建築基準法改正の影響等により、当初予想を下回る見通し。

平成 20 年 3 月期連結業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）
（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想（A） | 26,500 | 1,450 | 1,300 | 820 |
| 今回修正予想（B） | 29,779 | 1,131 | 910 | 446 |
| 増減額（B - A） | 3,279 | 319 | 390 | 374 |
| 増減率（%） | 12.4 | 22.0 | 29.9 | 45.6 |
| （ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期） | 19,615 | 1,240 | 1,068 | 733 |

1. 連結売上高に関しましては、PI 事業（個人投資部門）において建築基準法の改正により、建築確認申請の遅れ等の影響を受けたものの、CI 事業（法人投資部門）および投資マンション販売事業が堅調に推移し、売上高は過去最高を達成する見通しであります。
2. 利益面に関しましては、改正建築基準法の影響で利益率の高い PI 事業のアパート案件の引渡しが減少したこと、ならびに PM 事業（賃貸資産管理部門）の入居者様向けサービスの強化施策を実施したこと等により、売上総利益率が低下したほか、賃貸管理物件の入居率向上を目的とした入居促進策の実施等積極的な広告活動を行った結果、入居率の上昇が得られたものの、販管費が増加し前回予想を下回る見通しであります。
3. 当期純利益に関しましては、サブプライムローン問題の発生に伴い世界的な景気の不透明感が増した為、保守的な見地から海外関連会社株式について評価損の計上を行ったこと等により、前回予想を下回る見通しであります。

以上